

**【4月2日実施】2024年度夏季短期海外研修募集説明会（オーストラリア海外キャリア実習・ベトナム海外キャリア実習） 当日質疑応答集**

質問	回答
学内選考・語学スコアについて	
先着順ではないということは、研修に参加者を定める条件は何ですか。	定員を超える応募があった場合には、語学スコアで選考をさせていただきます。 有効な語学スコアを1つ以上ご提出ください。
IPテストのスコアというのは、明治大学で実施されたTOEICのスコアということでしょうか？	そのご認識で問題ありません。
TOEICを受けたのが2年以上前で有効期限が切れている場合はどうなりますか？また、いつの時点で点数が見られますか？	有効期限が切れているスコアは出願にご利用いただけませんので、そのほかにお持ちの語学スコアがありましたらそちらをご提出ください。またオンライン応募時点で、お持ちの有効な語学スコアをご提出ください。
明治大学の協定留学で6月まで海外にいて、早く7月5日に日本に帰る予定なんですけど、それでも参加できるかどうか知りたいです。	事前のオリエンテーションなどは原則対面でのご参加をお願いしているため、今回についてはご参加いただくことができません。本説明会でご紹介しているグループ渡航型のプログラムは難しいですが、個人渡航型のプログラムであれば、お申し込みいただけます。
例年定員に対してどのくらいの応募状況になりますか？また、定員を超えた場合、学校の成績と語学スコアのどちらが重視されるのか知りたいです！	昨年度は定員に対して、約2、3倍のご応募をいただきました。定員を超えた場合には、語学スコアのみ選考に使用されます。GPAは選考に関与しません。
プログラムについて	
オーストラリアのインターンシップ中は4週間ずっと英語を話すという認識で間違いではないでしょうか？	(OKCご担当者様) 現時点でお持ちの語学能力によって変わります。派遣先としては、英語だけの環境なのか、日本語がや入る環境なのか、といういくつかのバリエーションがあります。現時点で十分な語学能力やコミュニケーション力があれば、英語環境での実習というチャンスが出てくるかと思いますが、その一方で、英語力がまだ十分でないという場合だと、日本語がやや入ったり、日本語中心の就業先となる可能性もあります。その点については参加決定後のマッチング面談などを通してご相談させていただきます。
オーストラリアとベトナムの違いや、オーストラリアの方が値段がなせ高いのを知りたいです	こういった観点にかによりますが、渡航先の国柄、気候も異なれば、プログラム内容、住居形態等も異なります。募集要項や説明会資料をご覧ください、各条件毎に比較検討していただければと思います。ベトナムについては、現地の同僚だけでなく、現地学生など、世代問わず交流ができるのが特徴的です。 2つのプログラムの費用の差については、2か国間で航空運賃と物価が大きく異なるので、それが金額に如実に現れています。(OKCご担当者様) オーストラリアについては、英語圏で英語でインターンシップをするというのが大きな違いかと思えます。また、世界中の色々な国から人が集まる職場であるというのも特徴的です。
オーストラリアの研修では、クルーズ会社でのインターンはできるのでしょうか。去年はなかったかと思えます。	(OKCご担当者様) クルーズ会社への派遣自体はありますが、『キャビンアテンダント』の業務はまだありません。『運行管理』という裏方の業務が用意されています。
その他	
例年大学4年生は何名ほど参加されていますか？	昨年度は4年生のご参加は若干名で、2、3年生の方のご参加が多かったです。就職活動との兼ね合いもあると思いますので、その点は是非ご検討いただければと思います。
今IELTSの勉強をしているのですが、(現段階5.5)、それ別にビジネス英語の準備をしておいた方がよいのですか？オーストラリア、ベトナムいずれの場合も聞きたいです。	ベトナム・オーストラリアどちらもですが、企業実習をするプログラムですので、事前にビジネス英語の準備をしておいた方がよいかと思えます。1週目にビジネス英語の研修が用意されていますが、語学のプログラムではなく、アウトプットをしに行くプログラムですので、事前にビジネスでよく使われる表現などは、教材等是非ご活用いただき、事前にインプットを沢山しておくといいかと思います。

※作成時点での回答となります。状況により変動の可能性がありますのでご了承ください。

※一部質問を抜粋・適宜編集しています。

2024年4月2日 明治大学国際連携事務室（短期研修）